

燃ゆる感動

かごしま国体・かごしま大会

2020

— 第75回国民体育大会 — 10月3日▶10月13日 — 第20回全国障害者スポーツ大会 — 10月24日▶10月26日

来年のかごしま国体・かごしま大会の開催に向け、県内各地で進むさまざまな取り組みを紹介します。



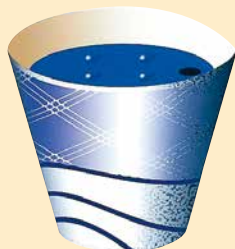
※学校・学年は今年3月時点のもの



きよか

炬火トーチ

県の鳥「ルリカケス」などが描かれているトーチ
(デザイン・県立川内商工高校1年福永沙夏さん)



きよか

炬火受皿

薩摩切子の模様などが描かれている受皿
(デザイン・鹿児島市立田上小学6年加藤太樹さん)



愛媛国体での鹿児島県選手団入場の様子(平成29年9月)

いよいよ来年、かごしま国体・かごしま大会開催

来年10月、国内最大のスポーツの祭典、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」と、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が鹿児島で開催されます。

国体は昭和47年の「太陽国体」以来、48年ぶり、全国障害者スポーツ大会は初の開催となります。東京オリンピック・パラリンピックで日本中が盛り上がる年に鹿児島が熱くなります。県では両大会に向け、施設整備や競技力向上、気運の醸成など、さまざまな取り組みを進めています。

炬火トーチ・炬火受皿などのデザイン決定

今年3月には炬火トーチ・炬火受皿や公式ポスターのデザインが決定されました。「炬火」とはオリンピックの聖火に当たるもので、両大会のシンボルとなる火です。炬火トーチと炬火受皿は、炬火リレーや両大会の開会式・閉会式などで使用するもの。鹿児島らしさを感じるデザインで、トーチには川辺仏壇の技法を使用し、受皿は薩摩焼で製作します。

炬火リレーの開催は来年8月。夏休み期間に子どもたちをはじめ多くの県民の皆さんの参加のもと、県内全市町村をめぐる予定です。両大会への思いを一つに、オール鹿児島で盛り上げていきましょう。

関連情報

ボランティア約6,000人募集!

～両大会の成功のために～

両大会の運営や障害者の方への支援を行うボランティアを募集しています。全国から訪れる方々を、心のこもったおもてなしでお迎えしてみませんか?

詳しくはホームページをご覧ください。



スポーツ豆知識

国体の始まり

終戦の翌年(昭和21年)、スポーツを通して国民に勇気と希望をもってもらうと、戦争の被害が少なかった京都を中心に初めて国体が開催されました。その後、毎年各都道府県持ち回り方式で、また、第3回大会からは都道府県対抗方式で開催されるようになりました。



昭和47年の太陽国体の様子
県立鴨池陸上競技場(現「白波スタジアム」)

【問い合わせ先】 燃ゆる感動 かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局 Tel.099-286-2874